

5 末梢神経障害を起こしやすい抗がん剤について ― 一覧表を示します

末梢神経障害の症状は、薬の種類や投与量によって、頻度が異なります。また、同じ薬でも症状の程度は個人差があります。下記に使用する頻度が高く、末梢神経障害を起こしやすい薬剤をまとめてみました。

a) 殺細胞性の抗がん剤 (*)

(*) 殺細胞性の抗がん剤とは

細胞が分裂して増える過程に作用する抗がん剤。細胞増殖の盛んな細胞を障害します。

一般名※	商品名※	症状	対象となるがんの種類
パクリタキセル	タキソール パクリタキセル	手足のしびれ、 痛み、感覚が鈍い	非小細胞肺がん 乳がん、卵巣がん、 子宮体がん、 胃がん など
パクリタキセル (アルブミン懸濁 型)	アブラキサン	手足のしびれ、 痛み、感覚が鈍い	乳がん、胃がん、 非小細胞肺がん 膵がん
ドセタキセル	タキソテール ワンタキソテール ドセタキセル	手足のしびれ、 感覚が鈍い	非小細胞肺がん 乳がん、卵巣がん、 子宮体がん 前立腺がん、頭 頸部がん、食道 がん、胃がん
カバジタキセル	ジェブタナ	運動のまひ、感 覚のまひ、手足の しびれ、手足の 痛み	前立腺がん
ビノレルビン	ナベルピン ロゼウス	知覚異常、腱反 射減弱	非小細胞肺がん 乳がん

一般名※	商品名※	症状	対象となるがんの種類
ビンクリスチン	オンコビン	手足のしびれ、 感覚異常、便秘	白血病、悪性リンパ腫、小児腫瘍、 多発性骨髄腫、 神経膠腫 など
ビンブラスチン	エクザール	歩行困難、知覚異常	悪性リンパ腫、絨毛がん、胚細胞腫瘍 など
ビンデシン	フィルデシン	筋力低下、しびれ感、知覚低下	急性白血病、悪性リンパ腫、肺がん、食道がん
エリブリン	ハラヴェン	手足のしびれ、 感覚が鈍い、脱力感	乳がん、 悪性軟部腫瘍
オキサリプラチン	エルプラット	手足、口周囲のしびれ、痛み、 感覚異常、知覚不全、 のどのしめつけ感	大腸がん、胃がん 膵臓がん
シスプラチン	シスプラチン ブリプラチン ランダ	手足のしびれ、 痛み、感覚が鈍い、 聞こえにくい	肺がん、頭頸部がん、 食道がん、胃がん、 胆道がん、卵巣がん、 子宮頸がん、睪丸腫瘍、 膀胱がん、腎盂・尿管腫瘍、 前立腺がん、骨肉腫、 など

一般名※	商品名※	症状	対象となるがんの種類
カルボプラチン	カルボプラチン パラプラチン	手足のしびれ、 痛み、感覚が鈍 い	頭頸部がん、小 細胞肺癌、辜 丸腫瘍、卵巣が ん、子宮頸がん、 悪性リンパ腫、非 小細胞肺癌、 乳がん など
ネララビン	アラノンジ	手足の痛み、しび れ、感覚麻痺、筋 力低下	T細胞急性リンパ 性白血病、T細胞 リンパ芽球性リン パ腫

b) 分子標的型の抗がん剤(*)・その他



(*) 分子標的型の抗がん剤とは

がん細胞に存在する特殊な物質をピンポイントで攻撃する抗がん剤。

一般名※	商品名※	症状	対象となるがんの種類
ボルテゾミブ	ベルケイド	手足のしびれ、 痛み、感覚が鈍 い、起立性低血 圧、便秘	多発性骨髄腫、 マンテル細胞リン パ腫
イクサゾミブ	ニンラー口	しびれ、チクチク 感、ピリピリ感、痛 み、手足に力が 入らない、手足が 燃えるように熱い など	多発性骨髄腫

一般名※	商品名※	症状	対象となるがんの種類
トラスツズマブ エムタンシン	カドサイラ	手足のしびれ、 痛み	乳がん
ブレンツキシマブ ベドチン	アドセトリス	運動のまひ、感 覚のまひ、手足の しびれ、手足の 痛み	ホジキンリンパ腫 未分化大細胞リ ンパ腫
サリドマイド	サレドカプセル	手足のしびれ、 痛み、起立性低 血圧	多発性骨髄腫
レナリドミド	レブラミドカプセル	手足のしびれ、 痛み、感覚が鈍 い、起立性低血 圧	多発性骨髄腫 骨髄異形成症候 群、成人 T 細胞 白血病リンパ腫
ポマリドミド	ポマリスト	手足のしびれ、 痛み、筋力低下	多発性骨髄腫

※薬の一般名と商品名

「一般名」とは薬の有効成分を示す名前です。これに対して「商品名」とは製薬企業が医薬品を販売するためにつけた名前です。

